

津軽三味線の吉田兄弟

初のスペイン・ツアー

津軽三味線の人気若手奏者吉田兄弟が、欧州では初めてとなる単独ツアーをスペインで開催した。日程は、九月十九日がバルセロナの花市場劇場、二十一日がマドリードのシルクロ・デ・ベジヤス・アルテス、二十三日がマドリード文化ホールだった。

これまでスペインを含むヨーロッパ数カ

国でミニライブを行っ

たことがあるが、その

時は自分たちを巧(うま)く表現

できなかった。

「今回

はリベンジ

と言います

か、オーデ

ィエンスの

方々にどう

三味線を理

解してもらうか、ということも熟考してステージを組みました」

蓋(ふた)を開けてみれば三

公演とも会場は満席。合わせて

感嘆の声があがった。

特筆すべきは、二十三日のス

テージの最後を飾ったフラメン

コ・ダンサーのラファエル・ア

マルゴ氏とのコラボレーション。

カンテ(唄)、トケ

ン。ギター・カホン・バイ

オリン、バイレ(踊り)

の十人が『陽炎』で吉田

兄弟と共演。これは二人

人が以前、来西した際

に生まれたナンバー

で、演奏が終わると総

立ちの観衆から割れん

ばかりの大喝采かっ

さいが送られた。

「フラメンコも三味

線もそれぞれ民謡。こ

のセッションを通じて

受ける影響が、新しい作品に

なれば」と言う彼ら。さらな

るインスピレーションの発露が

待ち遠しい。

(文・写真)在マドリード「ラ

ジオ・シルクロ」アナウンサー

・松嶋公美



三味線を理

は「ケ・ポニート(なんて美しい)！」とため息ともつかない